



（佳作）

自然と人間の調和

札幌市立清田中一年

佐藤 公

小川のせせらぎ、木の葉が風にそよぐ音、小鳥や虫たちの鳴き声が聞こえる公園。自然の中を、さわやかな空気を胸いっぱい吸い込みながら歩く充実感、お金でなんか買えるものではありません。

一、みんな緑の街に

昭和六十一年六月に、さっぽろ花と緑の博覧会が開かれます。「人と自然」——そのすばらしい関係をテーマに、花と緑と人間の関係をうたいあげるイベントです。

（一）緑化推進条例を全道に

今まで失った自然の回復をはかること、現在のすばらしい自然の保護をすることなど、良い自然環境の整備をするため制定されたものと聞いています。

緑の計画、活動、PR、市町村と市町村民が協力して緑化する「緑の制定」とか、全道で条例ができたなら、自然を守ることができるのではないのでしょうか。

（二）記念植樹祭を全道に

札幌では、五月に「ふるさとに森をつくろう」ということで植樹祭を計画し、実行しています。全道でもひろめてはどうでしょうか。

（三）記念植樹を無料で

ぼくも小学一年生のときに、公園に記念植樹をしました。入学、誕生、結婚などの記念に、せめて無料で植樹をさせてはどうでしょうか。

（四）学校林をふやそう

むかし、父のときにあったそうです。全道各市町村で、山を学校林として貸し与えてはどうでしょうか。すぐに良い結果はでるかどうかわかりませんが、二十年后ぐらいにその材木で学校を建ててはどうでしょうか。

私達も、こうはいにすばらしいおくり物を残していきたい。ピータイルより、フーリングの教室の方がぬくもりがあり、体にも良いと思います。

(5) 原始林として残して欲しい

札幌藻岩原始林や円山原始林のように、大切に、天然記念としたい。木にふれると生命のぬくもりが伝わってきます。

二、歩いてみよう並木道

ぼくの家そばには、農業試験場のカラマツ並木があります。二百十九本の平均の高さは十八メートルです。毎日の暮らしにおちつきを見せてくれます。

(1) 散歩道として残そう

景色の良い所と史跡などを結んだものとして、札幌には二カ所あります。「開拓使の道」と「開こんと美術の道」です。このように、歴史の流れの中で学習できることこそ、本当の勉強と思うのですが、どうでしょうか。

(2) 緑のセンター

四季それぞれ、さいばいできる室内植物などを展示して、緑と花の相談、園芸教室、図書室を作ってはどうか。

三、レクリエーションのために

(1) 自然歩道

(2) サイクリングロード

(3) 貸し自転車

(4) 青少年キャンプ場(家族)

など、たくさん造って、自然と親しみながらハイキングやピクニックに、体力づくりをかねるなど、いろいろ利用してはどうでしょうか。そしてその中から、

自然を大切にすることを植えていくのです。

四、終わりに

ピカピカの中一年生です。記念に作文を書いてみました。学校の図書室、地域の図書館で本を読み、ちよつぱりえらくなつた気持ちです。

ぼくもザリガニとりが大好きです。これを機会に、自然を守ることに少しでも協力します。

「大きく育て、北海道の緑」